



市内どこからでも通える小規模特認校

えがお

真名子小だより

10月号

平成26年10月9日

発行者 島田 芳行



色づき始めた真名子の里山を背に、まばゆいばかりの真っ白い蕎麦の花が畑一面に咲き、まさに秋本番を感じる季節となりました。校庭東側には、色とりどりのコスモスの花が見事に咲き、そこを通る子どもたちの表情も輝いて見えます。このコスモスの花は、学校評議員の皆様が、“コスモスの花咲く日本一美しい学校”を目指し、6月9日(月)に植えてくださったものです。お陰様で素敵なコスモス通りになりました。ありがとうございました。

さて、10月8日(火)、赤崎勇氏・天野浩氏・中村修二氏の三氏が青色LEDの開発でノーベル物理学賞を受賞したといううれしいニュースがありました。こうした受賞を聞いたたびにすごいと思うことは、夢に向かって明確な目標を掲げ、努力し続ける研究者たちのひたむきさと強い意志です。赤崎勇氏は、この研究に約60年を費やしてきたといいます。

子どもたちの学習も同じです。明確な目標を掲げ、努力し、できるようになってこそ、学ぶ楽しさが分かり学習への意欲が高まります。本校では、10月・11月を特にじっくりと学習に取り組む時期と考えています。確かな学力の定着を目指し、ご家庭でもご支援・ご協力がいただけますようよろしくお願いいたします。



子どもたちが生き生きと頑張った運動会、お世話になりました

去る9月27日(土)に行われた運動会は、昨年度までとはひと味違った運動会でした。各学年の代表者と各係の代表者で実行委員会を組織し、実行委員会が中心になって本校ならではの運動会を創り上げました。6年生を中心に子どもたちが最後まで一丸になって取り組むすばらしい運動会だったと思います。保護者の皆様、西方中のボランティアの皆さんのご協力に心から感謝いたします。



【実行委員長・紅白の応援団長の強いリーダーシップで運動会が盛り上がりました】



【西方中の皆さんに感謝】



【走ったり、跳んだり、ダンスしたり、そして自分たちで考えた児童会種目も力の限り頑張りました】



【保護者や地域の方にもお世話になりました】

【最後は紅白の応援団長がお礼のあいさつをしました】



“学びの秋” ～1年の中で今こそ学力を付ける時です！～



秋は、何をやるにもよい季節ですが、運動会も終わり、今こそじっくりと学習に取り組む時期と考えています。本校では10月6日（月）から10月17日（金）までが学習強調週間、そして10月14日（火）から24日（金）までが読書週間になっています。読書量は学力と深い関係があると言われています。課題意識をもって進んで学習に取り組むよう“分かる授業”を目指すと共に、たくさんの方の良書に親しむよう、積極的に子どもたちを支援していこうと思います。ご家庭でも、家庭学習の様子を時折見てあげながら、励ましてくださると子どもたちの学習意欲ももっと高まります。よろしくお祈りします。



●学ぶ楽しさを味わわせ、学ぶ意欲を高める！（4年生の算数科「面積」授業例）



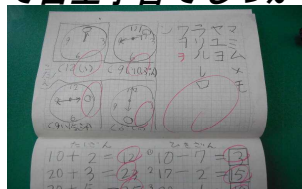
初めて面積の単位「1 a(アール)」を学びました。校庭に書いて1㎡と比較します。「1 a(アール)」の広さを実感することで、子どもたちはこの単位を確実に覚えます。

●体験を通して理解を深める！（2年生の生活科「もっとなかよし、まちたんけん」）



2年生が「デイサービス真名子」に行ってきました。施設のことを教えていただき、施設を利用する方々と交流するという体験を通して、ふるさと真名子のよさを理解します。

●学んだことは、ノートに整理。そして自主学习でしっかり復習！



学力の定着

どの子も自主学习を頑張っています。自主学习が終わると校長室にノートを持ってきて見せてくれます。とても楽しみです。

家読（うちどく）のススメ

読書週間中の集会でブックトークを行います。今年のテーマは「生きる」です。「ミツバチ、ともだち」や「時をつなぐおもちゃの犬」などの本を図書委員が紹介します。また、10月19日の「こころの日」には親子で山本有三の作品を読むよう手作りの短い冊子をお渡しします。秋の夜長、ぜひご家族で本に親しみ、気持ちがあつたか〜になるとよいですね。



お知らせとお願い ～みんなで頑張りましょう！～

このたび小規模特認校のPR看板が校門のところに設置されました。子どもたちに案を募集し、投票の多かった作品をもとに本校の床井教諭が仕上げました。さらに新しいパンフレットも市教委に作成していただきました。保護者の皆さんに配付しますので、ぜひパンフレットを活用し、真名子小のよさをPRしていただければ幸いです。

